

清酒で乾杯！

自民党提案の条例制定

消費拡大めざし

日本文化の理解促進

日本酒でカンパ〜イ！……清酒で乾杯する習慣を広くめようと自由民主党京都市議員団22名は、11月市会に「京都市清酒の普及の促進に関する条例」を提案。全会一致で可決され1月に施行されました。この条例は、従前より酒どころの伏見区をはじめ京都市内の各酒造組合の皆さんから強いご要望をいただいていたもので、全国でも例をみない条例の制定です。

清酒は、京都市伝統産業活性化推進条例で「伝統的な技術及び技法を用いて、日本の伝統的な文化及び生活様式に密接に結び付いて

いる製品その他の物」と位置付けされるなど、日本固有の文化と深く結びついたもので、日本のアイデンティティを担うという文化的な意義を有するものです。自民党議員団としても、こうした伝統産業を衰退させないことはもちろん、伝統産業の未来を切り拓き、

日本の文化を世界に発信させなければならぬとの思いを共有したところからです。そして、身近な習慣である乾杯を清酒にて行い、それを継続的に働きかけを行

うことにより、清酒の消費拡大などの普及を通じた日本文化への理解の促進への拡がりを目的に、この条例を提案しました。日本文化の継承、和のライフスタイルの提案という観点から、また、京都の伝統産業の活性化という観点から、更なる一歩を踏み出す時だと考えています。皆さまのご協力のもと、何卒よろしくお願



日本酒振興の「ほろよいフェスタ」鏡開き(ゼスト御池10月1日)

います。皆さまのご協力のもと、何卒よろしくお願

により、資料のペーパーレス化を進めることについては、できるところから取り組むこととなりました。【代表質問項目の事前公表】

11月の定例会から、代表質問の項目を前日中にホームページで公表することと

既実施3市町を訪問

換を行いました。栗山町議

市会改革推進委員会は、10月29日から31日の間、名古屋市、北海道栗山町、新潟市において調査を行いました。

名古屋市会では、議会基本条例の制定過程や制定後の課題について、事務局から説明いただきました。栗山町議会では、議長を含めた4名の議員と意見交

【委員会の直接傍聴】委員会の直接傍聴については、課題を検証するため、市会改革推進委員会で試行的に実施することとなりました。1月18日の委員会では、直接傍聴を試行実施しました。

会は、平成18年に全国で初めて議会基本条例を制定され、長年に渡り条例を運用されていることから、条例制定後の議事運営の状況、住民の方との関係の変化について、お話をうかがいました。その中で、議会基本条例は手段であって、目的は地域民主主義の向上と住民福祉の向上であるとお話があり、おおいに共感しました。

議会基本条例の制定へ

本格的検討始まる

市会改革推進委

市会改革推進委員会は、議会基本条例の制定に向けた検討を本格的に始めています。

9月の委員会では、法政大学の廣瀬克哉教授をお招きし、「京都市議会基本条例

に求められるもの」をテーマに御講演いただきました。また、10月の委員会では、これまでの委員会での議論をもとに作成された、議会基本条例の骨子案が委員長から提出されました。

現在、委員会では、下部組織として議会基本条例の検

討部会を設置し、委員長から提出された骨子案をもとに集中的に議論を行っています。

直接傍聴を 施行実施！

【実施された取り組み】

議会基本条例についての議論を行う中で、試行も含めて新たに実施することとなった取組についてお知らせします。

【資料のペーパーレス化】電子メールでの資料送付

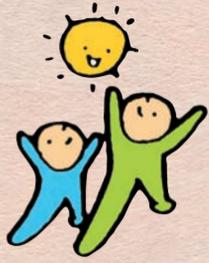


新潟市で意見交換する京都市会の市会改革推進委員会

新潟市議会では、議員定数について、議員定数調査特別委員会の正副委員長と意見交換を行いました。

いずれの議会も、すでに議会基本条例を制定され、制定後も課題と向き合いながら改革を進めておられます。京都市会においても、議会基本条例の早期制定と改革の取組の推進に、自民党議員団がリーダーシップを発揮してまいります。

自由民主党 京都市会 議員団ニュース



平成25年(2013)1月20日発行

■発行人/津田大三 ■編集長/山本恵一・田中明秀
〒604-8571 京都市中京区河原町御池
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
http://jimin-kyoto.jp/

No.40

代表質問

11月
定例会

11月定例会代表質問は、11月30日に行われ自民党市会議員団は繁隆夫議員(伏見区)、寺田一博議員(上京区)、山元あき議員(右京区)の3氏が重要な施策でそれぞれ質問をおこないました。

力強く「市民外交」を支援

重要な京都の役割

国際理解に大きな成果

繁隆夫議員(伏見区)

市では、様々な海外の都市と交流を行っており、市民団体などによる市民主体の交流も広がっています。こうした交流が、国際理解や友好親善に

大きな成果を挙げてきました。

私も、一市民として、青島市やボストン市との交流を実践し、都市間交流において最も重要なことは、市民による交流、すなわち「市民外交」ではないかと思っております。こうした「市民外交」を



中国・青島市とのパートナーシティ提携式に出席した門川市長ら

力強く支援していくことが、国際都市である京都市に求められている役割であると考えますが、いかがか。

門川大作市長

(答弁) 行政間の交流と、市民レベルの交流を共に推進することが京都市の発展、ひいては、世界平和に大きく寄与するものと確信しております。

繁隆夫議員の質問項目

- 本市の財政運営と平成25年度予算編成
- 国際都市・京都に求められる「市民外交」の役割
- 景観政策と都市の活性化
- 魚アライサイクルセンターの運営
- 市内農産物の地産地消

新景観政策と都市計画進め方

本市は、積極的にパートナーシティの提携を進めるとともに、市民交流の橋渡しなどの支援に全力で取り組んできました。今後とも、あらゆる都市間交流において、「市民外交」を力強く支援し、「日本」の心が感じられる国際都市・京都の実現に向け、取り組んでまいります。

繁隆夫議員(質問) 京都市は5年前、新景観政策について、京都の魅力が更に向上し都市の活力につながるのとの説明をしましたが、それから

寺田一博議員(上京区)

エネルギーの地産地消を 中長期的な戦略で『京の力』活かし取り組み

寺田一博議員(質問) 私は東日本震災が「エネルギー改革元年」になるのではないかと思っております。早期にエネルギーに関する将来構想を構築し、エネルギーの地産地消を本格的にスタートすることです。山紫水明の地、京都において今後の施策についてどのようにお考えかお聞かせ下さい。

門川大作市長(答弁) エネルギーの地産地消の取り組みを更に加速させていくために

寺田一博議員の質問項目

- 本市におけるエネルギーの地産地消
- 市民の命を守る防災対策
- 公立高校の総合選抜制度の見直し
- 堀川団地の再生
- 伝統産業を活用した商品の普及啓発

5年、その説明は実感できておりません。都市の活性化に繋げていくためには、景観行政のみならず、産業や観光、文化など様々な関連行政との連携が必要であり、工場等の大規模跡地を有効活用するなど、景観の保

全の一方で、都市の活力にも生かしていかなければなりません。今後の新景観政策や都市計画の進め方についてお伺いします。

そのため、「良好な景観の保全・形成」、「住環境の保全・整備」、「都市機能の整備・誘導」の3つの観点を踏まえ、例えば「創造」を基調とする地域では、企業の立地促進に重点を置くなど、地域の特性を考慮しつつ、景観や市街地環境を重視しながら、計画的な土地利用を誘導してまいります。

堀川団地の再生 地域の意見反映

の新たなスタートの年としてまいりたいと考えております。

寺田一博議員(質問) 堀川団地の再生に関し、私も代表質問や委員会等で幾度となく提言してまいりましたが、この間、堀川商店街では先の見通しがまま営業を続けなければならないという民間の感覚とかけ離れた事態が続いてきました。事業推進委員会のメンバーでもある京都市は、京都府や京都府住宅供給公社へ強く働きかける必要があると思っております。

再生事業は、商店街や入居者、地域住民の皆様のご理解やご協力が前提であると考えております。今後は、京都府、京都府住宅公社が関係者の皆様に丁寧な事業説明を行い、意見を十分に汲み取ったうえで、再整備計画に反映されるよう、強力に働きかけてまいります。

門川大作市長(答弁) 団地

は、地域のエネルギー資源を最大限に活用していくための戦略を構築することが不可欠であります。そのためには、府、市、経済界がエネルギービジョンや目標等を共有する



地元の声反映された再整備計画が期待される堀川団地

(寺田議員の質問 3面へ続く)

民間保育園の耐震化急げ

寺田一博議員（質問）災害時には昼間の避難所とも言える保育園等が大きな役割を果たすこととなります。しかしながら特に民間保育園の耐震改修は大きく遅れており早期

の支援強化が必要で、耐震化の促進支援策を強く求めます。また京都市民の命は必ず守ると強いメッセージを発信するためにその拠点となる常設の「危機管理セン

ター（仮称）」の整備が不可欠となります。
門川大作市長（答弁）災害時に大きな役割を果たしているだけのことのできる民間保育園については一層取り組みを推進する必要があるため、来年度の早い時期に、各園の意向や状況等を踏まえた耐震化

計画を策定して参ります。災害対策の司令塔となる常設の危機管理センターについては、耐震性のある消防庁舎の作戦室などを活用して早期に整備し、将来的には、現在検討中の市庁舎整備の中で、十分な機能を備えたセンターを整備していきたいと考えています。

財源の問題からそれを1年に0・5%ずつ更新するのがやつの状況です。この老朽管の敷設換えのさらなるスピードアップと財源確保をさせていただきたいと考えますがいかがですか。
門川大作市長（答弁）水道管の更新については、事業費を平成25年度からの5カ年で344億円とこれまでの2倍に増加させ、現在0・5%である更新率を平成29年度には1・2%までに引き上げ、さらにその後は1・5%以上を目指します。

子ども医療費の負担軽減

償還払いを見直し

現物給付化へ取り組み

山元あき議員（右京区）

の負担軽減と利便性の向上に1日も早く取り組む必要があります。

星川茂一副市長（答弁）償還払い制度の見直しについては、来年度中の現物給付化に向けて取り組みを進めて参ります。また、子ども医療費の負担軽減については、国の責務として全国一律に実施されるべきであり、他都市とも連携し、より強力に要望を行ってまいります。

財源をしっかりと確保して、老朽管の取り替えの計画値の引き上げや耐震化を行っていかなくてはなりません。法定耐用年数を超え、取り替えが必要な水道管が京都市内にはまだ560kmもあり、現在はい

については更なる経営の効率化を徹底するとともに、現世代と将来世代との負担の公平性などを考慮し、老朽化の状況を含めて市民の皆様にと

山元あき議員（質問）9月から子ども医療費支給制度の拡充が図られましたが「償還払い」制度についてはさらに見直しをすべきです。現在の制度では、窓口で3千円以上を支払った場合、その超えた額は申請により後日払い戻しの支給を受けることになっていますが、それぞれの医療機関の窓口での支払いが1ヶ月当たりの上限額3千円まで済むようにし、市民の皆様

さらに、子ども医療費の負担軽減について全国一律の制

山元あき議員（質問）市民のライフラインである上下水道を将来にわたって安全・安心・安定的に使い続ける為に



老朽化した排水管の敷設替え工事

参ります。

山元あき議員の質問項目

- ・ 河川改修の今後の方向性
- ・ 子ども医療費支給制度
- ・ 情緒障害児短期治療施設「青葉寮」の再整備
- ・ 地下鉄の増客対策
- ・ 老朽化した水道管の敷設替えとその財源確保策

水道管の老朽化敷設替え財源を

山元あき議員（質問）市民

市政のリーダーシップ

自民党議員団

委員会	常任委員会					市会運営委	特別委員会			
	経済総務	くらし環境	教育福祉	まちづくり	交通水道消防		予算 決算			
委員長	加藤 盛司		山本 恵一	中村三之助		加藤 盛司	繁 隆夫			
副委員長		中川 一雄	西村 義直				吉井あきら	下村あきら		
自民党	加藤 盛司	井上与一郎	下村あきら	大西 均	内海 貴夫	加藤 盛司	加藤 盛司	井上与一郎	内海 貴夫	加藤 盛司
	田中 明秀	繁 隆夫	富 きくお	小林 正明	津田 大三	加藤 盛司	田中 明秀	大西 均	小林 正明	繁 隆夫
	寺田 一博	寺田 一博	西村 義直	桜井 泰広	中村三之助	島本 京司	寺田 一博	寺田 一博	桜井 泰広	島本 京司
	富 きくお	中川 一雄	吉井あきら	橋村 芳和	椋田 隆知	田中 明秀	山本 恵一	富 きくお	下村あきら	高橋泰一朗
	山本 恵一			山本 恵一		山元 あき	吉井あきら	中川 一雄	中村三之助	田中 明秀
	吉井あきら						西村 義直	橋村 芳和	津田 大三	山元 あき
							椋田 隆知	山本 恵一	山元 あき	
							吉井あきら			

委員構成の一部変更

右京区選出の田中英之議員が、一般の衆議院議員総選挙に立候補するため辞職されたことに伴い、各委員会の委員構成が一部右の表の通り変更されました。

11月定例会市会で可決された議案

- ▽京都市清酒の普及の促進に関する条例の制定
- ▽妊婦健診及びヒブワクチン等への公費助成継続を求める意見書の提出
- ▽北朝鮮の弾道ミサイル発射に抗議し、拉致問題の一刻も早い解決を求める意見書の提出
- ▽市長提出議案
- ▽平成24年度京都市一般会計補正予算（2議案）
- ▽京都市環境影響評価等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ▽京都市市費弁償条例の一部を改正する条例の制定
- ▽京都市区役所出張所設置条例の一部を改正する条例の制定
- ▽京都市動物園条例の一部を改正する条例の制定
- ▽京都市障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく事業及び施設の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の制定
- ▽京都市生活保護法に基づく施設の設備及び運営の基準に関する条例の制定
- ▽京都市老人福祉法等に基づく施設の設備及び運営の基準に関する条例の制定
- ▽京都市介護保険法に基づく事業及び施設の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の制定
- ▽京都市食品衛生検査施設等の設備及び職員配置の基準に関する条例の制定
- ▽京都市診療所における専属の薬剤師の配置の基準に関する条例の制定
- ▽京都市専用水道の水道技術管理者の資格に関する条例の制定
- ▽京都市児童福祉施設等の設備及び運営の基準に関する条例の全部を改正する条例の制定
- ▽京都市都市計画関係手数料条例の一部を改正する条例の制定
- ▽京都市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例の制定
- ▽京都市立八瀬小学校増築工事請負契約の締結
- ▽指定管理者の指定（10議案）
- ▽市道路線の認定
- ▽不動産の処分
- ▽調停の成立
- ▽当せん金付証券の発売金額
- ▽町の区域の変更
- ▽京都市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定
- ▽京都市教職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定
- ▽京都市立学校管理用務員の給与の特例に関する条例等の一部を改正する条例の制定
- ▽京都市教育委員会委員の任命

2013年「日本を取り戻す！」 国政は政権復帰した自民党が本格始動しました。日本のエネルギー政策について、議論はますます高まろうとしています。

自民党市会議員団ニュースは、22人の議員団一人ひとりに、2013年頭の所感として「これからのエネルギー政策について」次のとおり、ひとこと求めました。

小林 正明 北区



現在の社会・経済活動に支障が出ないエネルギー需給の安定が求められる。原発から徐々に海洋資源開発や都市鉱山の活用への転換が必要。

山本 恵一 北区



持続可能なエネルギー構成のベストミックスの確立を視野に、「安全第二」の原則の下、皆様への負荷の最小化を基本に地産地消も提言していきます。

中村三之助 上京区



「安全」は勿論大事であります。同様に生活や産業にエネルギーの安定供給も極めて重要である事を考え、縮小に向かうべきです。

寺田 一博 上京区



京都の地理、環境に合ったエネルギー政策を実施する為にも専門的知見を活用し、市民の皆様が安心して暮らせる街づくりを目指します。

大西 均 左京区



原発問題を抜きにして論じることとはできない。核のゴミの安全な処理技術が確立されない限り、核エネルギーに頼る社会は考えられない。

桜井 泰広 左京区



国民生活や経済活動に支障がないことを前提に、技術革新により、原子力に依存しなくてもよい社会へ、ソフトウェアデザインを図っていく。

加藤 盛司 中京区



原子力発電に対する依存を縮小し、自然エネルギーを増していくべきだが、市民生活や商業活動に支障を生じさせない事も重要です。

津田 大三 中京区



エネルギー政策は大変複合的かつ広範囲な難問です。感情論だけに陥ることなく、現実と理想をどこで折り合わせるかが肝要と考えます。

内海 貴夫 東山区



全てのエネルギーの可能性を徹底的に掘り起こし、社会・経済活動を維持するための電力を確実に確保。原子力に依存しなくてもよい構造の確立。

富 きくお 山科区



どのような状況下でも社会・経済活動に支障をきたさないよう、再生可能エネルギーを最大限導入し、省エネの徹底を図ります。

吉井 あきら 山科区



将来的に、原子力の比率を下げ、再生可能エネルギーの技術革新に対し国家としてしっかり支援していくことが必要と考えます。

これからのエネルギー政策

自民党市会議員団 2013 年頭のひとこと

下村 あきら 下京区



京都議定書誕生の地として、太陽光をはじめ、再生可能エネルギーを飛躍的に拡大させ、エネルギーの地産地消に努めてまいります。

棕田 隆知 南区



市民のくらしの安心安全を守るため、脱原発依存を目指し、核廃棄物の処理問題克服と環境保全、安定供給の課題に取り組みべきです。

島本 京司 南区



人々の現実生活と民間経済に打撃や悪影響を及ぼさぬ配慮の下、自然エネルギーへの移行と地球温暖化防止の観点も重要な条件です。

井上 与一郎 右京区



原発に依存せず、自然エネルギーの可能性を求めてゆくべきである。但し、市民生活や、商工業のための電力確保は重要です。

山元 あき 右京区



原発については安全性が確認されたものは当面は稼働させ、今後徐々に縮小していくのが現実的な方策であると考えます。

田中 明秀 西京区



現状は原発の安全性をしっかりと確保していくこと。同時に各自治体においてもエネルギーの地産地消に向けた取組を推進していくこと。

西村 義直 西京区



限りある資源とエネルギーに関して多岐に亘る活用や仕組みを通して今後、私たちの生活に必要なエネルギーの効率化向上を目指して取り組みます。

高橋 泰一郎 伏見区



政治は不可能を可能にする武器です。議員生活十期三十八年の経験と実績と知恵とエネルギーを結集して伏見と京都のために頑張ります。

繁 隆夫 伏見区



「安全第二」の原則の下、原子力に依存する事なく、日本の環境技術を駆使し、省エネと再生可能エネルギーの最大の導入を推進する。

橋村 芳和 伏見区



伏見を環境先進区に！横大路の廃食用油のバイオ化で市バスやゴミ収集車が走り、淀ではメガソーラー。「もったいない」の一步先へ。

中川 一雄 伏見区



安全、安心の万全を求め、全てのエネルギーの可能性を徹底的に掘り起し、社会、経済活動を維持する電力の確保を確立いたします。

〒604-8571 京都市中京区河原町御池
自民党京都市会議員団
 jimin3@nifty.com
 FAX.257-3091

皆さんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。